

2015 年 7 月 18 日

ほしぞらサロン 6 月議事録

文責：山本親弘

日 時：2015 年 6 月 27 日（土）

19:00~22:00

場 所：プラネタリウム事務所

参加者：角、山田（明）

（50 音順、敬称略）

職 員：小野田、平野、角田、山本

（計 5 名）

サロンを始める前に、18:00 から七夕の飾り付けを行いました。

1. 7 月 4 日（土）のほしぞらウォッチングについて

7 月のほしぞらウォッチングについて、観望対象、使用機材、来場者数が多い時（投影 2 回または 3 回）のときの対応、雨天時の対応などの話し合いを行いました。リーダーは山田（明）さん、ライブ担当は篠原さんです。当日の流れは以下のようになります。

18:00	集合・打ち合わせ（@プラネタリウム事務所）
18:30	準備
19:30	ライブ（@プラネタリウム）
20:00	観望会（@アクアドーム前）
21:00	終了

① 観望対象

- ・金星
- ・木星
- ・土星（木星を優先で観望）

② 使用機材

現状の参加可能スタッフを考えると、木星 1 台、金星 1 台の計 2 台で、という話もありましたが、来場者数を見ながら最悪 1 人で 2 台を担当し、木星 2 台、金星 2 台という形をとることも検討しました。

6 月のほしぞらウォッチングの状況から、晴れていれば今回のウォッチングも多数の来場者が予想されるため、木星、金星それぞれ 2 台ずつ望遠鏡を出すことになりました。

- ・木星 2 台（ビクセン、タカハシ 10cm 屈折式望遠鏡）
- ・金星 2 台（ビクセン 8cm 屈折式望遠鏡）

③ 来場者数が多いときの対応について

今回のほしぞらウォッチングは来場者数が多く見込まれるので、そのときの対応について話し合いました。

<プラネタリウムのライブ解説が 1 回では収まらない人数の場合>

ライブ解説 1 回目の来場者は予定通りのスケジュールで行い、解説 2 回目の来場者は 20 時より解説開始。その後、解説が終わりしだい、観望会に合流。

<プラネタリウムのライブ解説が 2 回では収まらない人数の場合>

解説が 3 回行われるような来場者数の場合は、3 回目の解説は行わず、すぐに観望会のほうに案内するという意見が出ました。

しかし、もし解説 3 回目予定だった来場者をそのまま観望会に案内したとしても、解説 1 回目、解説 2 回目の来場者が観望会にいるため、望遠鏡の数を考えると対応が難しいと予想されます。

対応スタッフ数と望遠鏡数を考えると、現状では 2 回投影分の人数（160 名）＋観望会のみ参加数（数十名）程度の受け入れが最大ということになります。来場者数が増加することはとても良いことなのですが、今後のウォッチングも同じことが予想されるので、対応を考える必要があります。

④ 雨天時の対応

雨天時の場合、プラネタリウムでのライブ解説のみになります。観望会に代わる屋内でもできるものが何かないか、を話し合いました。

- ・写真（ipad で表示した天体）を望遠鏡で見る。
- ・実際に望遠鏡を触ってもらう。

⇒ 赤道儀や経緯台など。

今後も雨天時にできる新しいアイデアを募集しています。

2. 8月22日（土）のほしぞらウォッチングについて

8月のウォッチングの、主に観望対象について話し合いを行いました。リーダーが未定です。当初ライブ担当（予定）の近藤さんが、当日参加できないことが判明し、急遽、篠原さんに担当をお願いすることが決まりました

① 観望対象

観望対象について、様々な意見が出ました。

- ・七夕の星（ベガ、アルタイル）
- ・アルビレオ
- ・M13
- ・月
- ・土星
- ・アンタレス

七夕の星や、アルビレオ、M13について、

⇒高度が高いため望遠鏡に入れるのが難しい。

⇒肉眼で見てもらうか、対空双眼鏡で見てもどうか。

⇒対空双眼鏡は、角度があると鏡筒の重さで架台が動いてしまう。

などの意見が出ました。肉眼で見る人のために寝そべれるシートを引く、という案も出ましたが、来場者数が多く見込まれるため物理的に無理なのでは、ということになっています。

したがって現段階では、土星や月に望遠鏡を使い、七夕の星などは肉眼で観望という形になりました。観望対象や機材についての詳細については8月サロンで話し合われる予定です。

② 旧暦七夕

8月ウォッチング当日が旧暦七夕に近い日なので、七夕にまつわる何かをしたい、という意見が出ました。そのときに出た具体的な意見は、

- ・マイクや音楽で、七夕の雰囲気を出す。
- ・短冊を書いてもらう。
- ・七夕飾りを付ける。
- ・豚の蚊取り線香
- ・うちわ
- ・紙コップで灯籠を作る。

- ・ケミホテル

などが出ました。まだまだ実現可能なたくさんアイデアを募集中です。よろしくお願いします。

3. 今年度のクリスマス企画について

今年度のクリスマス企画について、次のような案が出ています。

- ・昨年に引き続き、以前のクリスマス作品の第2作目を投影する。
- ・紙芝居を行う。

今年度は、現状のスタッフの参加可能人数を考えると番組制作は難しい状況です。したがって、以前の番組を再投影するのが現実的となっています。

もし何か新しい番組を何か作るとするならば、今年度のうちから来年度に向けて何か準備ができればと考えています。

4. 今後の活動予定について

- 7月4日(土) ほしぞらウォッチング「金星・木星」
- 7月18日(土) ほしぞらサロン
出張観望会@宗像ユリックス(古賀ボーイスカウト)
- 7月22日(水) エコロの森 日時計工作教室(9:00 ユリックス集合)
- 7月25日(土) ほしぞら友の会第4回「月の観察」
- 7月26日(日) 出張観望会@岡垣町いこいの里

~~~~~

6月のサロンは、主にほしぞらウォッチングについて話し合いました。8月のウォッチングはリーダーが未定になっています。また、当日は旧暦七夕に近いので、七夕にまつわる何かをできたらと考えています。リーダーとあわせて、様々なアイデアを募集中ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

次回の「ほしぞらサロン」は、7月18日(土)です。